

日田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 改訂（案）に対する意見

－ H29.3.17 時点－

No.	意見の内容	意見に対する回答及び対応
1	<p>P29 「子ども咸宜園塾の推進」</p> <p>名称は「子ども咸宜園塾」となっているが、アクションプランの事業では、基礎学力を上げるためのものが中心で、郷土愛を高めると言っているが人間性を高める、情緒を高めるといふ部分が反映されていないと思う。</p>	<p>咸宜園教育とは、一人ひとりの意思や個性を大切にし、その能力や可能性を最大限に高めようとする「咸宜（ことごとくよろし）」や、生活を正すことにより、人間性や社会性を高めてから学習に向かう「治めた後、教える」、善い行いを積み重ねることにより人格を高める「敬天」などがその理念であると考えます。</p> <p>この咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進については、日田市教育行政実施方針（案）の「学校教育の充実」の中に位置付けている。</p> <p>また、具体的な取組としては、道徳の時間や校外での体験活動、講師を招いての講演や指導等、ふるさとを愛する心の育成を図る取組を実施しており、その代表として「子ども咸宜園塾」を挙げているもの。</p>
2	<p>P6 「6次産業化の支援」</p> <p>総合戦略の施策では農家自身が食品加工をするという自己完結型で記載がされている。農業振興ビジョン及び中小企業振興計画においては、6次産業化について農商工連携をうたっており、市内の食料産業等と連携して新商品を開発するというような取組に関する記述を入れてはどうか。</p>	<p>・施策の記述の修正</p> <p>「新たな加工商品の開発等による農産品の需要を拡大させるため、加工施設等に支援を行い、雇用の創出と販路の拡大を図ります。」</p> <p>⇒</p> <p>「新たな加工商品の開発等による農産品の需要を拡大させるため、<u>商工業者等と農業者の連携を促すとともに、セミナーの開催や加工施設等への支援を行い、雇用の創出と販路の拡大を図ります。</u>」</p>
3	<p>定住人口の保持、交流人口増加の取り組みが大事。シティセールスによって交流人口を増やす、移住者を増やす、選ばれる自治体にならなければならない。そのためには日田市のブランドメッセージが必要。情報発信についてもどこもやっていることを横並びにやっても効果がない。ターゲットをどこにするか等も含めて戦略的に考えていく必要がある。</p>	<p>ブランドメッセージは当然必要と考えている。総合戦略に基づいた事業の中で具体的なものを出していきたい。</p>
4	<p>P16 「日田で暮らし福岡都市圏等で学び働ける環境の整備」</p> <p>日田市は商業圏にしる、人の流れにしる福岡県みたいなものなので、この施策は当たり前だと思うが、大分へ行っている人も結構いる。発想として、新たな人の流れを作ろうとするなら、人口が増えている大分方面・中津方面にも対象を広げた考え方も必要なのではないか。</p>	<p>総合戦略の策定にあたっては、国の地域経済分析システムを活用し、国勢調査等の結果を踏まえて、既存の分析に基づいた対策ということで整理をしている。新たな発想を広げること、対大分、対中津を視野に入れ、分析を行う中で必要があれば新たな取り組みもやっていく必要があると考える。</p>

5	<p>日田に来ているんな人と交流して、滞在した人が経験や人的なつながりをPRしていくことが日田の魅力発信につながるのではないか。「ローカルエクスペリエンス」の視点を持った施策を打っていくことで、日田市独自の計画というものが出てくるのではないか。先進的なものごとを積極的に打ち出していくという攻めのスタンスを反映していくと市民も盛り上がると思う。（提案のみ）</p>	<p>【参考：総合計画審議会における同様の質問に対する回答】</p> <p>産業観光や奥日田観光の地域資源を活かした滞在型観光の一環として事業の展開を考えており、今後具体的な事業を検討する予定。</p>
6	<p>「観光・イベント」といった人が集まることについての議論が多いが、「住む・働く」ということについての議論がほしい。人口減少に歯止めをかけるということが大きなテーマであり、雇用の確保の視点での議論もお願いしたい。</p>	
7	<p>市民を巻き込んでという考え方が必要。京都に行った際に町全体でおもてなしをするというイメージがあったが、市民に分かりやすく柱を明確にしたコンパクトなメッセージを送ることは大事。一方で様々な施策を実施して全てを整えていかないと将来のまちづくりはないと思うので、一つ一つの施策はそれぞれ意味があって大事だと思う。</p>	
8	<p>施策の改善にあたっては一つ一つの施策の途中経過をチェックするということが非常に大事。施策の進捗をチェックする場が必要。KPIの数値だけでは判断できない。</p>	<p>来年度に向けてチェックのあり方を検討し、その結果をどう見直しに反映していくかについても検討を行っていく。</p>
9	<p>人口ビジョンも同時に策定しているので、現時点の実数やビジョンとの開き等、人口推移に関する資料も随時提示いただきたい。</p>	<p>昨年と比較して若干改善傾向にある。県内他市と比較して自然増減は上位、社会増減は中位にある。 関連資料は随時提示していく。</p>
10	<p>アクションプラン P2 「森林資源流通実態調査事業」</p> <p>もりビジョンを一昨年策定しており、取り分け来年度事業で実施する意味は。</p> <p>アクションプラン P6 「病児保育室建設費補助事業」</p> <p>これは今から募集をかけて実施するのか、それとも実施するところを見極めてやろうとしているのか。</p>	<p>・近年の国産材合板や木質バイオなどの新たな木材需要が年々増加する中で、流通の実態を分析し、日田市独自の供給体制をどう導き出すかを目的に実施するもの。</p> <p>・建設の意向があるとは聞いている。民間に対する支援ということで考えている。</p> <p>(補足) 中央病院の敷地内に整備 事業所内保育施設の隣接地に建設 対象：乳児～小6 2017年12月末完成見込</p>

11	<p>アクションプラン P2 「企業誘致事業」</p> <p>企業誘致にあたって日田市に土地がないのが一番の問題。</p>	<p>一番の課題だと認識している。小規模な工場用地としては、統廃合で廃校となった小中学校の跡地の活用も検討している。今後大規模な工場誘致は難しい時代なので、小規模や増設といったものに力を入れて動いている。</p>
12	<p>【意見書によるもの】 アクションプラン P4 「木育推進事業」「移住者個人創業支援事業」</p> <p>過疎化が深刻な周辺地域に住む立場から、この事業に力を入れて周辺地域の活性化、人口増加に働きかけてほしい。</p>	<p>「木育推進事業」H29 拡充 公共的施設・民間施設における空間整備の際の木質化工事・木製おもちゃの購入の助成・木育講演会・木育イベントの実施</p> <p>「移住者個人創業支援事業」H29 新規 県外からの移住者で空き家・空き店舗を活用して創業する個人への助成</p>
13	<p>【聞き取りによるもの】 アクションプラン P6 「おおいた子育てホットクーポン活用事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーポンの利用説明書に、何歳と何歳の子供がいる場合といったモデルケースを使って、利用が想定されるサービスを紹介すると分かりやすいのではないかと。 ・クーポンの説明チラシに利用できるサービス名が書かれているが、サービスの内容まで記載してもらいたい。 ・インフルエンザの予防接種は医療機関の窓口で手続きができると使いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用説明書の作成にあたっては、分かりやすい表現に努める。 ・クーポン配布の際にクーポンのチラシと一緒に、利用できるサービスの内容・利用できる施設等を説明した文書を同時に配布している。 ・インフルエンザの予防接種については、医療機関の窓口で支払いをしていただき、後日市役所にクーポンと領収書を添えて請求する「償還払い」の方法をご利用いただいている。医療機関窓口でクーポンを利用するためには各医療機関の協力が必要なため、今後、協議を行っていく。
※	<p>【会長まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画が総花的すぎるのではないかと、インパクトのあるものが必要ではないかと。 ・一方では総合性も担保しなくてはならない。 ・雇用の問題、生活するというのも重要 ・先進的な取組というのは、どういうコンテンツでどういう切り口でやるかが重要。 ・尖ったものを1つ成功させるためには9つの失敗をやらせてみるという後押しも審議会の役割。 ・進捗管理においては、KPIだけでなく、新しい動きだとか、芽がある取組というものを報告できる場、情報提供をできる場が工夫できないかと。 	